

沼津商工会議所
90年のあるみ

contents

会頭挨拶	2
祝辞	3
90年(80年)のあゆみ	4
90年(10年)のあゆみ	6
新会館建設経過	11
10年間の推移等	12

創立百周年に向けて



沼津商工会議所 会頭
市川 厚

沼津商工会議所の創立は、未だ第一次世界大戦の景気後退や関東大震災の打撃が覚めやらぬ大正14年1月17日であります。以来、激動する経済社会の荒波を乗り越え、本年度90周年の佳節を迎えることになりました。

この間を振り返りますと、戦後、日本経済の復興と伴に商工業者の福利厚生や経営改善に寄与、高度経済成長期を経て国際経済環境の変容が進む昭和40年代に大手町から御幸町の旧会館に移転、小規模事業者対策として商工振興委員やマルケイ資金制度が発足するなど、現在まで続く経営支援の礎を築かれた先人の方々に深く感謝いたします。

大型店の相次ぐ出店があった昭和50年代からは、その出店計画の調整を精力的に取り組んでまいりました。他方、駅周辺再開発構想及び多目的産業展示館構想を相次いで発表、更に沼津駅の高架化を実現する市民の会の設立や沼津駅南口駐車場の管理運営受託など、沼津駅周辺における活性化に大きく寄与してきたところであります。

そして、平成不況が深刻化する中、国等の経済対策等に呼応し、創業者支援、労働者の確保対策、雇用機会確保支援、情報化モデル事業を積極的に取り組んだほか、会員融資制度の創設など、地域産業の振興と経営基盤の回復に努めました。21世紀を迎え、経営革新及び創業支援を実施する中小企業支援センターを開設するなど相談体制の強化を図るとともに、地域産業アクションプログラムの策定などを推進してきたことは大変意義深く思います。

また、改正まちづくり3法の完全施行の中で政策要望活動を展開するほか、外国人研修生受入れやジョブ・カード制度などの人材育成・労働者確保対策を講じてきており、近年では、中心市街地活性化協議会による街づくり支援、ロケーションライブラリーの構築により沼津の魅力を積極的に発信しております。

こうした経緯の中でも、特に未曾有の被害をもたらしました東日本大震災には、今なお心が痛みます。当所でも震災後早々に被災商工会議所への義援金などの各種支援事業、被災児童の狩野川花火大会招待などを実施してまいりました。一日も早い復興を祈らずにはいられません。

最近のニュースでは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定は大変喜ばしく思います。当地沼津は、世界文化遺産となった富士山と国内有数の観光地伊豆を控え、圏央道開通や東駿河湾環状道路の一部供用開始により、首都圏との距離は益々縮まってきております。加えてプラサヴェルデの完全オープン、さらに鉄道高架も市民の努力と知事の御英断で大きく前進しようとしており、大きな経済波及効果を期待しているところであります。

結びに、会員をはじめ関係各位の多大なご支援により、このたび新会館が完成しました。来るべき創立百周年に向けて、役職員一丸となって、「地域振興」「中小企業振興」「基盤づくり」を着実に実行し、一層の存在感を發揮するため全力を尽くして参りますので、今後とも倍旧のご指導ならびにご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

祝　辞



沼津市長
栗原 裕康

沼津商工会議所が創立90周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

沼津商工会議所におかれましては、大正14年の創立以来、商工業者のニーズに応え地域における経済・産業の振興発展はもとより、沼津ブランド事業をはじめとする地域資源を活かす取組みなど、本市のまちづくりに多大な貢献をいただき、あらためて、長きに渡るご活躍に感謝と敬意を表する次第であります。

今日、人口の減少、津波・地震対策、産業構造の変化により、様々な分野において地域の特性を最大限に生かした変革が求められています。

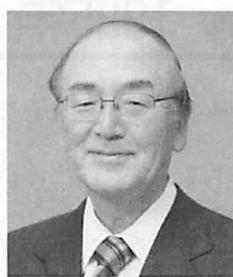
この度、創立90周年を機に、沼津商工会議所の新会館が建設され、活気溢れる地域経済社会を築いていくことに加え、県東部における産学官の連携拠点やコミュニティ施設としての役割を担っていただくものとご期待申し上げます。

このような中、沼津市は第4次総合計画に掲げた将来都市像「人と環境を大切にする県東部広域拠点都市・沼津」の実現を目指し、「市民との協働」を旗印に、躍動感あるまちづくりに取り組んでいます。

また、東名愛鷹PAと新東名駿河湾沼津SAのスマートインターチェンジの設置事業、沼津駅北口の総合コンベンション施設・ふじのくに千本松フォーラム「プラサヴェルデ」のグランドオープン、沼津御用邸記念公園を始めとする本市ならではのおもてなしの会場や演出等の開発など、先進的な人・もの・情報の交流の活発化につながる取組みも着実に進んでいます。

商工業界の皆様には、この機を好機にとらえ、本市が持つ地域資源や人材と、沼津商工会議所の幅広いネットワークと柔軟な発想と行動力を生かしながら、活発な事業を開拓されますようご期待申し上げます。

結びに、この記念すべき創立90周年を次代に向けた更なる発展への出発点として、沼津商工会議所のますますのご発展と会員各位のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのあいさつといたします。



日本商工会議所 会頭
三村 明夫

沼津商工会議所が創立90周年を迎えられますことを、心よりお祝い申しあげます。

沼津商工会議所は、大正14年の創立以来、常に地域経済社会のリーダーとして、多大なる役割を果たしてこられました。これも偏に、歴代そして現在の役員・議員・会員の皆様方、そして、事務局のたゆまぬご努力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

沼津商工会議所におかれましては、「ふじのくに広域ビジネス商談会・販売会」の拡充など、広域連携事業をさらに強化なさるとともに、創業や経営革新にワンストップで応じる「東部地域中小企業支援センター」を設置し、企業の成長に向けた新たな挑戦を積極的に後押ししております。また、中小企業の人材育成にも邁進され、地域を牽引する次代の担い手を数多く輩出する「頼れる存在」として、地域における評価をますます高められておりますことは、心強い限りであります。このたび、新会館が竣工の運びとなりましたが、新会館を拠点として、経済活動の拡大や地域活性化に一層の弾みがつくものと大いに期待されるところであります。

日本経済は、デフレ経済から成長経済への移行を果たすための重要な転換期に入っております。地域活性化や急激な人口減少による経済・社会の多面的な課題への対応など、乗り越えるべき課題はまだ数多く残されておりますが、デフレマインドから脱却し、今後わが国が力強く飛躍していくかは、成長を担う主役である我々民間の双肩にかかるであります。

日本商工会議所では、「現場主義」と「双方向主義」を基本方針として、全国 514 の商工会議所ネットワークを最大限に活用して、それぞれの地域発の成長を強力に後押ししてまいりたいと存じます。

沼津商工会議所におかれましては、記念すべき創立90周年を新たな出発点として、市川会頭を中心にさらに結束を深められ、皆様の事業活動の拠点でありますご当地沼津市が、より一層、豊かで活力ある地域となりますことをご期待申しあげます。

1925年～1973年

大正14年—昭和48年

主な活動

- 1925年 (T.14) 大正14年1月17日沼津商業会議所として設立
- 1927年 (S. 2) 商工会議所法が公布され、沼津商工会議所と改める
- 1928年 少年職業補導教育講座を開設
- 1929年 商業事務員学力検定試験を実施
- 1930年 (S. 5) 商工会議所本館完成（柴田直吉氏の請負）
- 1932年 家具商組合優良徒弟の表彰
- 1933年 第1回暑中、歳末大売出しを開始
- 1936年 (S.11) 第1回全国珠算競技大会で派遣選手が3等に入賞
- 1937年 商工相談所を開設（商取引、商店経営、商工金融、税務経理、商工法規等の相談・指導に対応）
- 1938年 優良勤続従業員の表彰を実施
- 1939年 郷土将兵武勲展覧会を開催
- 1940年 (S.15) 千本浜林間学校に商店道場を開設
- 1942年 第1回少年少女発明創案展覧会を開催
- 1947年 (S.22) 戦後第1回目の全市連合中元売出しを実施
- 1948年 第1回沼津夏まつりを実施
- 1949年 本所内に沼津中小企業相談所を設置
- 1950年 (S.25) 本所会報創刊号発行
- 1951年 第1回会員事業所優良従業員表彰を実施
- 1952年 沼津市商店街連盟を設立
- 1953年 新商工会議所法施行
- 1954年 簿記検定試験開始
- 1955年 (S.30) 本所創立30周年記念式典挙行
- 1956年 本所議員選挙選任に関する規定を制定
- 1957年 第1回商業活動調整協議会を開催
- 1962年 第2、第3、第4水曜日を商店街一斉休日に制定
- 1963年 (S.38) 本所会員による東南アジア経済視察実施（参加者16名）
- 1964年 本所主催カラマズー市一行歓迎パーティーを沼津クラブ庭園で開催
- 1965年 (S.40) 県下一斉買い物傾向調査の実施
- 1966年 本所創立40周年記念式典挙行
- 1967年 本所会館建設特別委員会設置
- 1968年 沼津貿易相談所を開設
- 1969年 本所労働保険事務組合設立
- 1970年 (S.45) 1967年版沼津市商工名鑑を発刊
- 1971年 商工会議所制度90周年記念式典（日商）
- 1972年 本所会館新築工事着工、定礎式開催
- 1973年 沼津青年工業経営研究会設立
- 沼津商業青年部連絡協議会設立
- 商工振興委員制度発足、21名を委嘱
- 本所14部会を9部会に組織替
- 沼津鉄工団地竣工式
- 沼津卸商業団地竣工式
- 小企業等経営改善資金（マルケイ資金）制度発足



◆創立当初の商工会議所前で役員一同



◆商工会議所前での戦後復興大売り出しの様子



◆第10回優良従業員表彰



◆沼津市御幸町に完成した会館竣工式

1974年～2004年

昭和49年～平成16年

主な活動

1974年	商工振興委員49名を100名に増員 集中豪雨により市内の被害甚大、本所に災害特別相談所を開設
1975年 (S.50)	本所創立50周年記念式典挙行
1976年	ミニスーパーの進出第1号として「ひのや東椎路店」の進出に対する市と会議所の調整を行う
1977年	本所共済制度の常時加入を開始（従来年4回）
1978年	1978年版沼津市商工名鑑を刊行 労働保険事務組合沼津地区協議会設立
1979年	第1回よろず相談所開設 沼津スーパー連絡協議会設立
1980年 (S.55)	本所に倒産防止特別相談室を開設
1981年	商工振興委員10年勤続者15名に会頭感謝状を贈呈
1982年	駿豆地区商工振興懇話会発足
1983年	1984年版沼津商工名鑑刊行
1984年	第1回沼津市産業展を開催 第1回沼津OAフェア開催 本所創立60周年記念式典挙行
1985年 (S.60)	第1回沼津活性化事業奥駿河湾海人祭
1986年	魅力ある県東部の新都心をめざし、ビビットスマザーライフ・パーク21構想を策定
1987年	沼津地域小売商業消費者関連事業の実施
1988年	沼津駅の高架化を実現する市民の会を設立 ぬまづ産業フェア'89の開催
1989年 (H.元年)	消費税施行に伴う導入円滑化のための対応策の実施 沼津商工会議所青年部結成と具体的活動の開始
1990年	高年齢者地域雇用開発事業の実施
1991年	会員大会・共済制度20周年記念事業の実施
1992年	沼津タウンパーキング（沼津駅南口駐車場）の管理運営事業開始 4000会員突破と新会費基準の策定
1993年	労働力の確保・人材の育成・労働福祉の充実
1994年 (H.6)	本所創立70周年記念事業の実施、記念式典の開催 沼津商工会議所婦人会（現女性会）の設立
1995年	創業者支援指導事業の実施
1996年	中小企業品質向上対策普及啓蒙事業の実施 会員勧奨運動の展開「1会員1事業所紹介運動」「なんでも相談会」の開催
1997年	沼津商工会議所会員融資制度の創設 株ヤオハンジャパンの会社更生法適用に伴う対応策の実施
1998年	ぬまづワールドダンスフェスタ'98（よさこい沼津）の開催 コンピューター西暦2000年問題対応アンケート調査の実施
1999年 (H.11)	財政5か年計画の策定 ぬまづ商業まつりの開催
2000年	東部地域中小企業支援センターの開設 空き店舗対策事業の実施
2001年	沼津商工名鑑2000年版の無料配布 新製品・新技術の紹介コーナーの設置と事例発表会の開催
2002年	第1回会員大会の開催 青年部第22回関東ブロック大会沼津大会の開催
2003年	青年部第22回関東ブロック大会沼津大会の開催 消費税円滑化対策事業の実施 若手後継者育成事業の実施
2004年 (H.16)	創立80周年記念事業の実施、記念式典の開催 海外産業事業視察、記念誌の発行



◆第1回沼津OAフェア

◆創立70周年記念事業
1日会頭を務める小谷実可子さん

◆第10回海外産業事情視察



◆地域ものづくり団体の片浜産業クラブが設立



◆多くの人出で賑わう夏祭中央公園



◆鉄道高架実現に向けた市民総決起大会を開催

2005年度 — 平成17年度

まちづくり3法の見直しの中で、「ものづくり・街づくり・人づくり—新たなフィールドへチャレンジ」を行動指針とし、地域産業振興アクションプログラムの提言による産学官連携の地域振興事業の展開等の様々な事業を推進実施するとともに、迅速的確な政策提言活動を展開し、活力ある街づくりや都市を築くための活動を行った。

主な活動

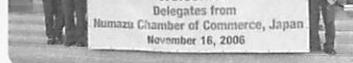
- 4月23日 愛・地球博バスツアーの実施
- 5月18日 TMOおかみさんサミットの運営
- 8月22日 大型店・スーパーとの懇談会開催
- 9月5日 片浜産業クラブの設立
- 12月15日 中心市街地における空き店舗情報をリニューアル
- 3月17日 螺子業界活性化セミナーの開催

2006年度 — 平成18年度

沼津駅付近鉄道高架事業に対する国の事業認可がなされる一方、改正まちづくり3法の完全施行が迫る中で、大型店等の出店に対する的確な行政判断を求める旨沼津市長に要望した。更に、県東部の中小企業の若手技術者を対象とした現場人材を育てる「高専等を活用した中小企業人材育成事業」（経済産業省）や、退職する製造業の有能な技術者を首都圏などから地方に誘致する「2007年問題対応U・Iターン事業」（厚生労働省）、会員企業の製造現場で若手研修生の技能修得を目指す「中国人研修生受入れ事業」をスタートさせた。

主な活動

- 7月26日 中国人研修生受入れに関する送出し機関との協定書調印
- 9月13日 沼津地域雇用開発活性化協議会の設立
- 10月3日 高専等を活用した中小企業人材育成事業の開講
- 11月11日 第10回よさこい沼津まつりの開催
- 2月6日 沼津駅付近鉄道高架事業認可報告会の開催



◆ベトナム・タイ産業事情視察



◆初めての外国人研修生を受け入れ



◆後藤会頭の就任挨拶



◆東部地域コンパンショナビューローの開所

祝 第12回 会員事業所創業記念表彰式
第54回 会員事業所優良従業員表彰式 懇親
沼津商工会議所ぬまづ技能マイスター認定式
沼津商工会議所

◆技能マイスターを初認定



◆緊急経済対策窓口を開設



◆中心市街地活性化協議会を設立

2007年度—平成19年度

第19期役議員の改選が行われ、後藤会頭をトップとした新体制での活動がスタート、全会員事業所の巡回運動に取り組んだ。また沼津市初の国際大会である「第39回技能五輪国際大会」が開催され、世界46ヶ国・地域から22歳以下の若者816人が47職種の競技で熱き戦いを繰り広げた。中心市街地活性化協議会の設立を視野に入れた懇談会を設置し、協議会の早期設立に向けて検討を進めた。

主な活動

- 3月20日 大手町再開発ビル「イーラde」オープン
- 6月20日 第1回中国人研修生の選抜
- 7月25日 ぬまづまちづくり講演会の開催
- 10月23日 改正建築基準法施行の円滑な運用について
沼津市長へ要望
- 11月1日 後藤全弘氏 新会頭就任
- 11月15日 第39回技能五輪国際大会の開催
- 12月25日 第1回中心市街地活性化懇談会の開催

2008年度—平成20年度

米国発の金融危機が直撃、戦後最長の景気拡大から一転、百年に一度の世界金融危機にのみ込まれ、景気の後退が鮮明になった状況の中、中小企業の資金繰り支援の拡充など迅速な景気対策の実行を求める緊急対策を県知事に要望するとともに、円高や原油高などで経営が悪化する地域の企業を支援するための「地域力連携拠点事業」（経済産業省委託）、非正規社員の正規雇用への転換対策である「ジョブ・カード制度事業」（厚生労働省委託）、シニア人材が持つ技術や専門知識を中小企業などに生かす「新現役チャレンジ支援事業」（経済産業省委託）に取り組んだ。

主な活動

- 10月9日 第1回静岡県東部地域ジョブ・カード連絡会の開催
- 11月26日 第1回沼津技能マイスター認定式
- 12月17日 沼津市中心市街地活性化協議会の設立
- 3月13日 沼津市中心市街地活性化基本計画（案）に関する
意見書の提出
- 3月31日 中期行動計画の策定



◆燐々ぬまづクーポンを発行



◆みなと新鮮館オープン直後の海人祭



◆ジョブカードの普及推進

2009年度—平成21年度

世界景気の下振れや消費者の低価格志向によるデフレ懸念にドバイショックや急激な円高などの新たな外部環境も加わり、中小・零細企業は、依然として厳しい状況が続く中、景気対策を最優先とした予算編成や税制改革など中小企業対策の要望活動を積極的に行つた。また、中心市街地活性化基本計画の認定を受け、交流人口の増加と定住人口の確保に向け、タウンマネージャーのもとに中心市街地の活性化に資する事業に対し補助金給付等の支援を行うとともに、「ロケーションライブラリー」の構築により沼津の魅力を積極的に発信した。

主な活動

- 4月27日 燐々ぬまづクーポンの発行
- 5月1日 商工会議所ホームページのリニューアル
- 6月4日 富士山静岡空港の開港
- 6月28日 ロケーションライブラリー事業開始
- 11月25日 後継者育成セミナーの開催（地域力連携拠点事業）



◆市川会頭の就任挨拶



◆人脉拡大交流会の開催



◆会館建設特別委員会の発足

2010年度—平成22年度

夏頃から景気の回復に陰りが生じ、それに追い打ちをかけるように急速な円高が、輸出関連企業にとって大きな打撃となる一方で、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、更に福島の原発事故や大規模な節電、風評被害による影響に対応するため、会員事業所への巡回訪問を強化し、「震災に関する特別相談室」や「緊急金融相談会」を相次ぎ開設した。

他方、第20期の役議員改選により、市川会頭をトップとした新体制が発足、中期行動計画の2年目として、財政基盤の強化を図るために生命共済制度の幹事変更、業務災害補償プランを12月に導入した。

主な活動

- 11月1日 市川厚氏 新会頭就任
- 11月1日 生命共済制度の幹事変更
- 12月10日 業務災害補償プランの取扱開始
- 3月11日 東日本大震災の発生
- 3月14日 東日本大震災に関する特別相談窓口の設置



◆新探復興を祈ってバザールに出店



◆被災商工会議所への義援金支援



◆大船渡市から被災児童を招待



◆広域ビジネス商談会を開催



◆新東名SAでの出店



◆中国成都市において伊豆地域のプロモーション

2011年度—平成23年度

夏季には円高が75円台という戦後最高値を記録し、原発事故によるこれまで経験したことのない計画停電が実施される中で、多くの企業で生産活動の下方調整や販売活動の低迷、宿泊のキャンセル等大きな苦難を強いられた。震災に対して、義援金募集、間接被害への対応要望、BCP策定等相談体制の整備、被災児童の招待などを実施した。

主な活動

- 4月1日 中小企業相談支援事業（最低賃金相談支援コーナー）の開設
- 6月14日 日商を通じた被災商工会議所への義援金支援
- 7月31日 岩手県大船渡市の被災児童を狩野川花火大会に招待
- 9月9日 中国旅行会社の招聘
- 10月13日 東日本大震災への対応について県知事に要望

2012年度—平成24年度

第2期中期行動計画の初年度として、主要事業項目に「地域振興」「中小企業振興」「基盤づくり」を掲げ諸々の事業を実施した。新会館の建設については創立90周年の節目の年度となる平成26年4月の供用開始を目指し、会館建設特別委員会において建設計画や資金計画について具体化を検討し、建設に向けた準備（基本設計、実施設計など）を進めた。

主な活動

- 4月28日 ハリプロ支援の「わが母の記」公開
- 4月16日 ふじのくに先端医療推進ぬまづの設立
- 8月3日 FACEBOOK活用講座の開催
- 8月9日 東駿河湾環状道路整備促進について国土交通大臣へ要望
- 9月13日 広域ビジネス商談会（当所主幹）の開催
- 1月8日 沼津駅付近鉄道高架事業の推進について国土交通大臣への要望
- 3月25日 沼津うまいもん！ガイドの発行



◆新会館建設業者との契約調印



◆多くの関係者を集め起工式を開催



◆再編された部会のもと新役員が選任

2013年度—平成25年度

アベノミクスの経済効果により大企業を中心に業績の回復がみられたが、中小企業の景況感は依然として厳しい状態にあった。

その中で、第2期中期行動計画の中間年度として、産業分類に基づく部会の再編を行い11月に新たに10部会が発足し、地域の特性を活かした新たな活動がスタートした。また、多くの会員からの協力を得て、新会館が約10ヶ月の工期を経て完成した。

主な活動

- 5月17日 商工会議所会館の着工
- 8月22日 ふじのくに先端医療総合特区に関するセミナーの開催
- 9月20日 ふじのくに広域ビジネス商談・販売会の開催
- 11月29日 鉄道高架PIプロジェクトの終了に呼応した県知事への要望
- 12月9日 中国成都市での旅行業者への観光プロモーション
- 1月17日 創立90周年記念事業実行委員会の開催
- 3月28日 商工会議所会館の完成

2014年度—平成26年度

新会館の完成に伴い事務所を完全移転し5月の供用開始にあわせて業務を開始した。第2期中期行動計画の最終年度として、引き続き「地域振興」「中小企業振興」「基盤づくり」に取り組むとともに、創立90周年記念式典の開催、第3期中期行動計画の策定等の各種記念事業を展開している。

主な活動

- 4月14日 新会館の神事・内覧会
- 5月1日 新会館の供用開始
- 7月1日 創立90周年記念誌発行（NET特別掲載）
- 7月10日 創立90周年記念式典及び竣工式典の開催
- 9月27日 創立90周年記念講演会の開催【予定】
- 10月4日 創立90周年記念移動美術館の開催【予定】
- 10月22日 創立90周年記念会員ゴルフ大会の開催【予定】
- 11月27日 創立90周年記念各種表彰式【予定】
- 2月15日 創立90周年記念会員交流イベントの開催【予定】
- 2月 第3期中期行動計画の策定【予定】



◆中活にてまちの未来創造部会の発足を決定



◆進出計画のあるららぽーとを視察

平成16年4月

創立80周年記念事業の一環として「将来の会館の在り方」を検討する。

平成17年10月

沼津設計監理協同組合に耐震診断を委託し、耐震補強工事と併せて改修工事を検討、その結果、新会館の建設方針を決定する。

平成21年6月

新会館建設用地として沼津市米山町地先の土地を取得する。

平成21年8月

会館建設内部検討会を設置し、必要となる会館機能について検討（計7回）を開始する。

平成23年1月

第1回会館建設特別委員会（委員長：秋元副会頭）を開催し施設機能、建設スケジュール、入居条件、業者選定、資金計画等について協議する。（計10回開催）

平成24年3月

第121回通常議員総会にて、建設工事に伴う設計業務実施要領を承認する。

平成24年4月

建設用地における地質調査を実施する。

平成24年5月

沼津設計監理協同組合により新会館の建築設計を開始する。

平成24年10月

臨時議員総会にて新会館の基本計画（施設配置計画）並びに資金計画を承認する。

第1回建設協力金募集推進委員会（委員長：市川会頭）を開催し、組織、役割及び協力金募集について協議する。

平成25年3月

建設工事における制限付き一般競争入札の執行を公告する。

第123回通常議員総会にて、建設協力金納入状況及び建設スケジュールを承認する。

建設協力金の募集を開始する。

平成25年5月

新会館建設工事の起工式を挙行する。

平成26年3月

新会館が完成する。

平成26年4月

神事・内覧会を開催し、その後事務所の移転及び業務を開始する。

平成26年5月

新会館の供用を開始する。

平成26年7月

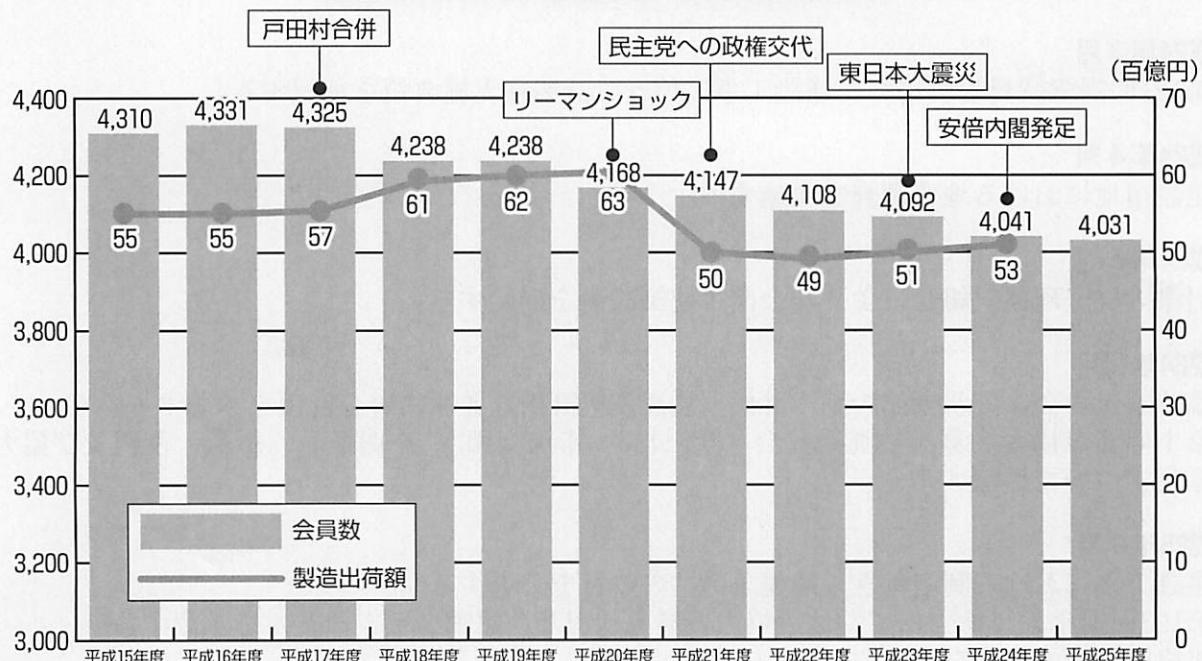
創立90周年記念式典に合わせ竣工式を挙行する。

10年間の推移 等

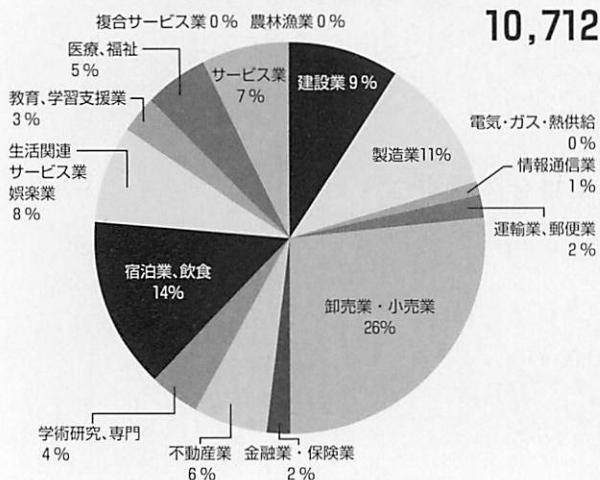
正副会頭 2005年～2014年

	平成13年11月～平成19年10月	平成19年11月～平成22年10月	平成22年11月～平成25年10月	平成25年10月～
会頭				
副会頭	後藤全弘・石橋昭彦 市川厚・勝又一強	市川厚・石橋昭彦 勝又一強(平成20年10月30日退任) 宇野統彦	宇野統彦・岩崎一雄 秋元一壽・山中利之	岩崎一雄・秋元一壽 紅野正裕・後藤行宏

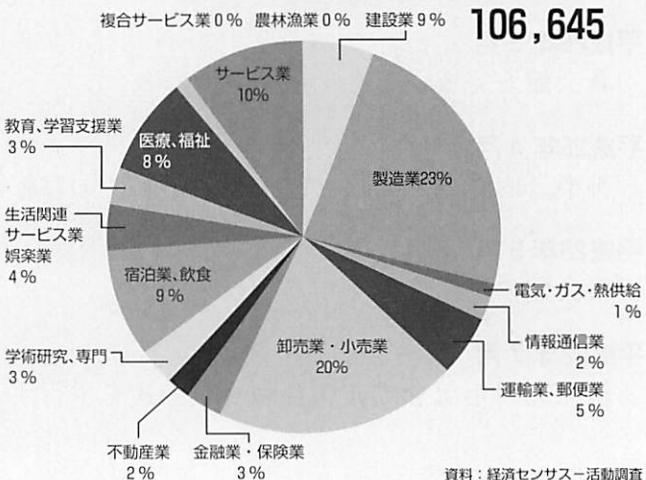
会員数と製造品出荷額の推移



平成24年事業所数



平成24年従業者数



資料：経済センサス－活動調査